# 海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度末時点の検証について

平成31年3月22日

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

## ≪目次≫

	項  目	ページ
1	今年度の総合戦略の主な意見交換項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	海田町の人口の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	達成に向けた状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4

#### 1 今年度の総合戦略の主な意見交換項目

#### 【趣旨】

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という)のKPI値それぞれの平成29年度末時点での達成に向けた状況の検証を行ったため、その報告を行う。その報告を受けて、総合戦略のKPI値の検証及び施策の進め方について、委員の意見をいただく。

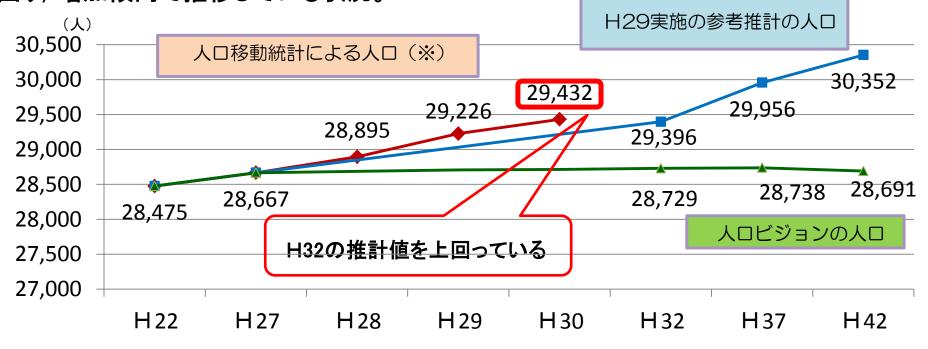
#### 平成30年度

#### 主な意見交換項目

- ▶ 次期総合戦略以降の取り組みについて
  - ・海田町として重点を置く分野について
  - ・施策や事業のアイディアについて

#### 2 海田町の人口の現状

総合戦略における人口ビジョン(H27.9月策定)においては,平成37年から人口が減少に転ずるものとして推計しているため,平成29年度に参考推計(平成29年の人口動態を反映し,純移動率を「平成22年国勢調査と平成29年推定人口から算出」された数値に変更して推計)を行った。その推計と比較しても,現状においては,平成32年の推計人口を上回り,増加傾向で推移している状況。



→人口移動統計による人口 ---人口ビジョンの人口(H29参考推計) ---人口ビジョンの人口

※人口移動統計:広島県が実施している統計調査で,直近(H27)の国勢調査による人口を起点とし,推計値を算出

#### 政策分野ごとの各施策の達成に向けた状況を評価

平成29年度末現在の実績値と計画の最終年度である平成31年度の目標値を比べ,次の4つの区分で,施策の達成度合いを評価

▶ 順調

平成29年度のKPI実績値が、平成31年度の目標値を上回っている。

➤ 概ね順調

平成29年度のKPI実績値が、平成31年度の目標値を下回っているが、平成31年度までに 達成の見込みがある。

- ▶ やや遅れ 平成31年度の目標達成に向け、遅れを生じている。
- ▶ 遅れ 平成31年度までの目標達成が困難である。

#### 総評

	指標						
政策分野	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ			
≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8	2	1				
≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る	5	5	5	1			
≪政策分野3≫ 海田町への新しいひとの流れをつくる	3		2	1			
≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する	1	1	3	1			
合計	17	8	11	3			

- > 総合戦略全体としては、基本目標(数値目標)・KPIのうち、「順調」・「概ね順調」が合わせて64.1%となっている。
- ▶ 各政策分野の基本目標については、4分野のうち3分野が「順調」・「概ね順調」となっている。(合わせて75%)
- ▶ 人口の現状については、引き続き、増加傾向で推移しており、人口ビジョンの人口推計を上回っている。
- ▶ 以上の状況を踏まえ、引き続き、各施策に取り組むとともに、「やや遅れ」または「遅れ」となるKPIで更なる充実が必要な施策等については、今後、検討を行い、関連施策に取り組んでいく。

## ≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
基2	<b>卜目標</b>	出生数	316人	344人	335人	0			
	①妊娠・出産に 対する支援の充 実	パパ・ママスクール 年間延べ参加者数	158人	229人	170人	0			
(1)出産・子育 てしやすい環 境の整備	②家庭における 子育ての支援	かいた版ネウボラ 年間延べ利用者数	-	43,724人	35,200人	0			
	③保育サービス の充実	待機児童数	0人	0人	0人	0			
	①子どもの居場 所づくり	児童館年間延べ利 用者数(2館)	13,805人	15,630人	14,000人	0			
(2)子どもが 健やかに育つ 環境の整備		放課後子ども教室 年間延べ利用者数	1,922人	3,000人	2,220人	0			
	②子どもの遊び 場づくり	海田総合公園年間 延べ利用者数	230,000人	230,115人	240,000人		0		

#### ≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
	①自立して社会 で生きていく基 礎となる「生きる カ」の育成	全国学力・学習状 況調査「活用に関 する問題」における 国の平均正答率と の差	小学校 国語+9.4pt 算数+4.5pt 中学校 国語+3.0pt 算数+6.3pt	小学校 国語+8.5pt 算数+7.1pt 中学校 国語-2.2pt 算数+2.9pt	全教科 +7pt		0		
(3)学校教育 の充実		中学校卒業時英検 3級程度以上の取 得率	21.0%	70.2%	70.0%	0			
	②児童生徒の 安全・安心の確 保と質の高い教 育環境の整備	学校施設耐震化率	87.5%	100.0%	100.0%	0			
(4)結婚に対 する意識の醸 成	①結婚に関する 情報提供	セミナー等の年間 開催回数	0回	0回	1回			0	
小計						8	2	1	

#### ≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(続き)

#### 【基本目標の検証】

▶ 基本目標の「出生数」は、平成27年→平成28年では減少していたが、「かいた版ネウボラ」など各種子育て支援施策に取り組んだことにより、平成28年→平成29年では、増加に転じ、平成31年の目標を超える結果となった。この状況を継続できるよう、引き続き、各種子育て支援施策に取り組む。

基本目標	H26基準値	H31目標値	H27実績	H28実績	H29実績
出生数	316人	335人	320人	307人	344人

〔※出生数の実績値は、「広島県人口動態統計年報」の数値〕

- KPIの「待機児童数」は、実績値(平成29年度当初)では0人で目標値0人を達成しているが、平成29年10月以降では、待機児童が生じたことから、新たな保育所を整備に取り組み、増加するニーズを充足させるための対策を進める。なお、新たな保育所の完成までの間は、不足する保育士の確保対策を行うとともに、第2次海田町子ども・子育て支援事業計画を策定し、必要なニーズ量を検討していく。
- KPIの「セミナー等の年間開催回数」は、平成29年度の実績が0回と計画上の目標値1回を下回る結果となった。町 単独での実施は困難なため、広島県や商工会との連携による取り組みを進める。

## ≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
基本目標		健康寿命の延伸	平均寿命 男80.18歳 女88.66歳 健康寿命 男78.74歳 女84.60歳	平均寿命 男82.70歳 (+0.5) 女87.73歳 (-0.46) 健康寿命 男80.83歳 (+0.34) 女83.42歳 (+0.19)	平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加		0		
	①災害に強い都 市構造の形成	民間緊急避難施設 数	2施設	10施設	8施設	0			
(1)災害に強		下水道による都市 浸水対策達成率	3.6%	4.0%	3.9%	0			
いまちづくりの 推進	②防災体制の 充実・強化	消防団員数	99人	107人	125人			0	
	③防災情報伝 達体制の整備・ 充実	移動系防災行政無 線デジタル化率	0%	0%	100%			0	

## ≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
(2)暮らしの安 全・安心の確	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実	年間交通事故件数	210件	123件	100件		0		
保	②防犯対策の 推進	年間犯罪発生件数	272件	219件	130件		0		
(3)健康づくり の推進	①健康づくりのための保健サービスの充実	健康づくりサポー ター養成講座年間 延べ参加者数	80人	88人	100人		0		
	①地域における 支援体制の充 実と地域包括ケ アシステムの構 築	地域ケア会議年間 開催回数	2回	12回	12回	0			
(4)豊かな高 齢社会の形成	②介護予防の 推進と介護サー ビス基盤の整備	地域密着型サービ ス事業所数	3箇所	8箇所	4箇所	0			
	③高齢者の安 心な生活の支援	地域コミュニティの 拠点数	0箇所	1箇所	3箇所			0	

## ≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
	①下水道の整 備	下水道処理人口普 及率	97.8%	98.6%	99.0%		0		
(5)住宅住環 境の整備	②町営住宅の 計画的な整備	大規模改修整備戸 数	0戸	0戸	78戸			Ο	
	③山畝地区の 基盤整備	山畝地区基盤整備 計画の策定状況	0%	0%	100%				0
(6)利便性・快 適性を備えた	①社会教育施 設の整備·充実 と有効活用	社会教育施設年間 延べ利用者数	188,059人	206,781人	190,000人	0			
公共施設等の整備	②交通空白地 域の解消と交通 アクセス利便性 の向上	循環コミュニティバ ス年間延べ利用者 数	40,936人	37,203人	44,000人			0	
小計						5	5	5	1

#### ≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

#### 【基本目標の検証】

▶ 基本目標の「健康寿命の延伸」については、平成29年度の実績は、平均寿命の増加(男性+0.5歳、女性-0.46歳)に対し、健康寿命の増加が男性+0.34歳、女性+0.19歳となり、女性が、計画上の目標である「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」を達成し、男性についても平均寿命の増加分との差を平成28年度の-0.26歳から-0.16歳に縮める結果となった。引き続き、健康づくりの推進に向けた取り組みを進める。

基本目標	H25基準値	H31目標値	H27実績	H28実績	H29実績
健康寿命の延伸	<b>平均寿命</b> 男80.18歳 女88.66歳 <b>健康寿命</b> 男78.74歳 女84.60歳	平均寿命の増 加分を上回る 健康寿命の増 加	平均寿命 男79.85歳 (-0.33) 女86.37歳 (-2.29) 健康寿命 男78.40歳 (-0.34) 女83.23歳 (-1.37)	平均寿命 男82.20歳 (+2.35) 女88.19歳 (+1.82) 健康寿命 男80.49歳 (+2.09) 女83.23歳 (±0)	平均寿命 男82.70歳 (+0.5) 女87.73歳 (-0.46) 健康寿命 男80.83歳 (+0.34) 女83.42歳 (+0.19)

〔※( )は対前年度からの増減〕

#### ≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

- KPIの「消防団員数」は、平成29年度の実績が107人と計画上の目標値125人を下回る結果となった。平成28年度→ 平成29年度は、107人→107人と、前年度維持となっていることから、目標値125人を目指し、成人式等の各種イベント 等の機会を利用し、入団促進のPRを実施し、消防団員の確保に取り組む。
- KPIの「移動系防災行政無線デジタル化率」は、平成29年度の実績が0%と計画上の目標値100%を下回る結果となった。移動系防災行政無線の改修にあたっては、現行システムだけでなく、他のシステムによる整備も検討し、機能性向上及び経費節減を勘案し、現行の移動系基地局の無線局免許が平成33年5月31日で期限切れをむかえることを踏まえて、デジタル化を進める。
- KPIの「地域コミュニティの拠点数」は、平成29年度の実績が1箇所と計画上の目標値の3箇所を下回る結果となったが、平成28年度の0箇所から1箇所の実績が出た。今後、平成29年5月に開所した地域密着型小規模特別養護老人ホーム内の地域交流スペースを拠点として活用することについて施設側との協議を進め、拠点の確保に取り組む。
- KPIの「大規模改修整備戸数」は、平成29年度の実績が0戸と計画上の目標値78戸を下回る結果となった。これは、 平成29年度に町営住宅長寿命化計画を見直したことによるもので、今後は、見直し後の長寿命化計画に基づき、大 規模改修整備を行う。平成30年度から改修に向けた実施設計を行っており、平成32年度以降に順次改修工事を進める。
- KPIの「循環コミュニティバス年間延べ利用者数」は、平成29年度の実績が37,203人と計画上の目標値44,000人を下回る結果となった。また、平成29年度に、利便性向上に向けダイヤ改正を行ったが、平成28年度→平成29年度は40,289人→37,203人と減少となっている。今後、地域公共交通網形成計画を策定する中で、その他の公共交通も含めて地域にとって最適な公共交通体系を整理し、循環バスにとって適正な運行ルート等の見直しを進める。

## ≪政策分野3≫ 海田町への新しいひとの流れをつくる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
基2	<b>卜目標</b>	人口の社会増減	+199人	+118人	毎年度+を 維持	0			
(1)織田幹雄 さんにちなん だまちづくり	①織田幹雄さん の偉業の継承と スポーツのまち・ 海田づくり	スポーツ大会年間 延べ参加者数	1,889人	1,558人	2,000人			0	
(2)自然と文 化が息づく海 田町の魅力の 発信	①地域資源の 活用	Facebookによる 年間情報発信件数	69件	165件	150件	0			
(3)移住•定住	①移住に向けた PRの強化	首都圏や関西圏で の年間PR活動件 数	0件	2件	2件	Ο			
の促進	②空き家の流通 促進	空き家の利用転換 率	0%	0%	5%			0	
(4)拠点づくり の推進	①海田市駅南 ロのにぎわいづ くり	土地区画整理事業 区域内の居住人口	0人	0人	200人				0
小計						3		2	1

#### ≪政策分野3≫ 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

#### 【基本目標の検証】

▶ 基本目標の「人口の社会増減」は、平成29年の実績が+118人と計画上の目標値である「毎年度プラス値を維持」し、順調に推移している。今後も継続して施策を総合的に展開し、実績値の推移を注視していく。

基本目標	H26基準値	H31目標値	H27実績	H28実績	H29実績
人口の社会増 減	+199人	毎年度+を 維持	+49人	+208人	+118人

- ・ KPIの「スポーツ大会年間延べ参加者数」は、平成29年度の実績が1,558人と計画上の目標値である2,000人を下回る結果となった。平成28年度→平成29年度は、1,609人→1,558人と減少している。スポーツ大会年間延べ参加者数は、町内で実施するマラソン大会や駅伝大会等を対象としているが、ニーズに合わせた大会を開催し、参加者の増加に取り組む。
- KPIの「空き家の利用転換率」は、空き家の発生予防、利活用、除却を柱とした空家等対策計画を平成31年度までに 策定し、その後、対策を進める。
- KPIの「土地区画整理事業区域内の居住人口」は、海田市駅南口土地区画整理事業の事業目的のひとつとして、区域内に都市型住宅の導入を図ってきたが、区域内の宅地については、関係権利者の意向により商業施設の立地が決定したため、KPIの達成が困難となったが、一方で駅前に新たな賑わいの創出が期待される。

## ≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
基之	本目標	創業支援事業計画 に基づく 年間起業者数	0人	2人	6人			0	
	①町内における 雇用安定の促 進と労働環境の 整備	創業支援計画に基 づく創業支援相談 年間人数	0人	7人	30人			0	
(1)雇用の場 の確保	②連携中枢都 市(広島市)や 近隣各町と連携 した雇用の場の 確保に向けた取 組	安芸区役所の就労 支援窓口(ハロー ワーク)の年間利用 件数	0件	11件	30件				0
(2)交通網の 整備	①道路網の骨 格形成	橋りょう長寿命化修 繕計画に基づく計 画的な橋りょうの修 繕数	累計3橋 (3.7%)	累計5橋 (6.1%)	累計7橋 (8.6%)		0		

## ≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する

区分	施策名	指標名	H26基準値	H29実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
(3)商工業の 振興	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの 形成	中小企業融資制度 年間斡旋件数	42件	45件	50件			0	
	②連携中枢都 市(広島市)や 近隣各町と連携 した商工業振興 に向けた取組	各種支援を受ける 年間企業件数	0件	20件	10件	0			
—————————————————————————————————————						1	1	3	1

#### ≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する

(続き)

#### 【基本目標の検証】

▶ 基本目標の「創業支援事業計画に基づく年間起業者数」は、平成29年度の実績が2人と計画上の目標値6人を下回る結果となった。平成29年度に、町独自の助成制度である「海田町の魅力づくり推進補助金」を創設し、創業支援に取り組んでいる。今後、町独自制度や商工会が実施する「創業塾」等の支援メニューのPRを行い、起業者数の増加を図る。

基本目標	H26基準値	H31目標値	H27実績	H28実績	H29実績
創業支援事業計画に基づく 年間起業者数	0人	6人	0人	3人	2人

- KPIの「創業支援計画に基づく創業支援相談年間人数」は、平成29年度の実績が7人と計画上の目標値30人を下回る結果となった。今後、町独自の助成制度である「海田町の魅力づくり推進補助金」や広島安芸商工会が実施する起業塾等の支援メニューのPRを行い、利用促進を図る。
- KPIの「安芸区役所の就労支援窓口(ハローワーク)の年間利用件数」は、平成29年度の実績が11件と計画上の目標値30件を下回る結果となったが、平成28年度→平成29年度は、3件→11件と増加している。この就労支援窓口は、生活困窮者等を対象とした窓口であることから、近年の景気上昇等によるニーズの低下なども考えられるが、今後も身近な場所で利用ができることをPRし、利用の促進を図る。
- KPIの「中小企業融資制度年間斡旋件数」は、平成29年度の実績が45件と計画上の目標値50件を下回る結果となったが、平成28年度→平成29年度は、36件→45件と増加している。今後も、融資制度のPRを行い、利用の促進を図る。